



ストライダー オーナーズマニュアル

この度はストライダーランニングバイクをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ストライダーは軽量性、耐久性、安全性を兼ね備えた、ペダルのないキッズ用ランニングバイクです。

お子様にストライダーを安全に楽しんでいただくために、本オーナーズマニュアルをよくお読みになってから、組み立て・ご使用ください。

オーナーズマニュアルに記載されております警告事項につきましては必ず厳守してください。

プログレッションヘッドセットシステム (Progression Headset™ system) について

ストライダーのステアリング(ハンドルの動き)は硬めに設定してありますが、使用するにしたがって軽くなっていきます。これは二輪車に慣れていない幼いお子様を守るシステムです。まだ2歳になったばかりの幼いお子様の場合、走行中ハンドルから手を離す恐れがございます。その際固めのステアリングがハンドルの急な切れ込みを防ぎ、安定性を持続させます。使用するにしたがって(お子様がストライダーに慣れるにしたがって)ステアリングは軽くなっていきます。

ノーステアリングリミッターについて

ストライダーにはステアリングリミッターがついておらず、ハンドルが自由に回転します。これはバランスを崩した際、リミッターによって固定されたハンドルが体に衝撃を与える危険性を回避するためのものです。

EVA ポリマータイヤについて

ストライダーの特色である EVA ポリマータイヤとホイールは、同サイズのゴム製チューブタイヤとスポークホイールより、48%軽量化されています。駆動系パーツの軽量化によりストライダーのコントロール性はとても軽いものになっております。EVA ポリマータイヤは優れた耐久性と軽量性を備えており、さまざまな路面コンディションに対して優れたトラクションを発揮します。何より、いつでも気軽に乗り出すことができ、空気を入れたりする必要も、パンクの心配もございません。

オプションパーツについて

シートポスト XL サイズ: ノーマルのシートポストでは着座位置が低すぎる身長が高いお子様用に、XL サイズのシートポストをご用意しております。XL サイズのシートポストはノーマルより約8cm長くなっております。

フットブレーキ: ストライダーは通常の乗り方をする限り、足で十分にブレーキをかけることができます。それが一番安全な止まり方ですが、上級者のためにフットブレーキキットをご用意しています。フットブレーキキットはスピードレンジが高い乗り方をされる4才以上(目安)のお子様で、スピードコントロールを学んだり、後輪をロックさせスライドして遊ぶためのものです。幼いお子様、まだストライダーをマスターしていないお子様の場合、ブレーキキットは逆にライディングを混乱させる要因となる可能性がございますのでご注意ください。

オプションパーツにつきましては、弊社又はお買い上げの販売店までお問い合わせください。

オーナー登録について

ストライダーにはフレームのステアリングヘッドチューブにシリアル番号が刻印されております。ストライダー日本公式サイト(www.strider.jp)では、アフターサービス充実のためオーナー登録を受け付けております。またご登録いただいた方には、今後のイベント情報などもお知らせさせていただきますので是非ご活用ください。今後ストライダーキッズミーティングやイベント的なキッズレースなども企画しております。

ご登録いただいた個人情報につきましては厳重に管理し上記以外の目的での利用はいたしません。また、裁判所や警察等、法的機関より法律に基づいた個人情報の開示を求められた場合を除き、いかなる第三者にも開示いたしません。

2009年10月現在、ストライダー公式サイト(www.strider.jp)ではオーナー登録ページを作成中です。まだ公式サイトの方でのご登録ができない場合は、メールにて以下項目をお知らせください。

宛先 株式会社豆魚雷MSD事業部 infodesk@mamegyorai.co.jp

保護者のお名前

メールアドレス

ご住所

ストライダーのシリアル刻印番号(ヘッドチューブに刻印されております)

ストライダーをご利用されるお子様の年齢と生年月日

ストライダーの乗り方

ストライダーの乗り方は簡単です。組み立てて、笑顔で手渡してあげるだけで、特に乗り方を教えてあげる必要はございません。子供は本能的にサドルに座って足で地面を蹴って進むということや、バランスのとり方を知っています。もしお子様が恐怖感を感じているようでしたら、横に立って歩きながらやさしく上着をつかんであげるか、肩をゆっくり支えてあげてください。決して後ろで車体を支えたり押ししたりしないでください。ライダーにとって車体を後ろで支えられるほど乗りやすく恐怖感を感じることはありません。

体をやさしく支えてあげることによりお子様は安心感を得てバイクの動きを感じ取ることができます。そして自分の体の動きに対してバイクがどんな動きをするのか理解を深めるようになります。

もし、バイク自体を支えてしまうと、その支える力は、子供が自分でバランスをとる力と相反するものになるため、自分でバランスをとることを止め、支える力に身を任せるようになってしまいます。

お子様にバイクの動きを感じさせてください。最初はヨチヨチ歩くように乗るだけですが、慣れるに従って上手に乗れるようになります。そしてなにより、お子様を褒めてあげることが一番のコーチングとなります。

ストライダーの経験を後輩キッズにシェアしてみませんか？

ストライダー日本公式サイト(www.strider.jp)では、これからストライダーに乗るキッズのために、先輩キッズからのコメントや写真、動画を募集しております。是非ともご参加ください。

品質保証

ストライダーは購入された日から1年間の保障期間がございます。不良パーツの交換は無償にて対応させていただきます。弊社では喜んでお客様のアシストをさせていただきますので、何か問題がございましたらご遠慮なく以下までご連絡ください。

消耗パーツであるタイヤについては有償にてのご提供となりますのでご了承ください。また、車体各部の傷や汚れにつきましては保障対象外とさせていただきます。

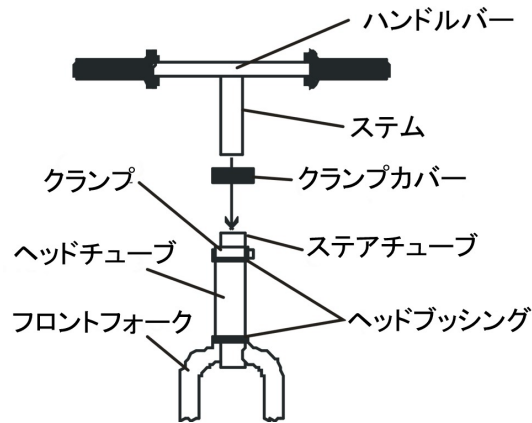
ストライダー日本総代理店
株式会社豆魚雷MSD事業部
www.strider.jp

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-36-10

電話 03-3336-5069

e-mail infodesk@mamegyorai.co.jp

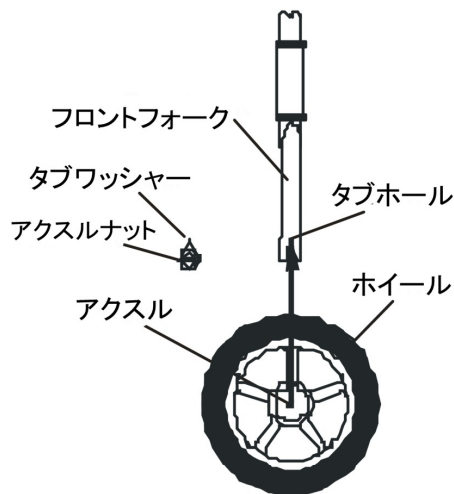
ストライダーの組み立て方



- 1、クランプカバーをステムにはめ、ステアチューブの中に差込んでください。ステアチューブの切れ目部分とクランプボルト締め付け部分は手前の位置(バイク後方側)となります。

ハンドルバーの高さと向きを調整し、クランプをハンドルが確実に固定されるまで付属のスパナ(14mm)で締めこんでください(ボルトとナットを痛める可能性がありますので締めすぎにご注意ください)。

クランプを締める前に、クランプが上部ヘッドブッシングに軽く接触するまで上から押さえこみ、ヘッドブッシングとの間に隙間が無いように装着してください。クランプ上部がステアチューブに引っかかり下まで下がりきらない場合は、太いドライバーなどをテコのように利用しクランプを広げて装着してください。ハンドルのステムは5cm以上ステアチューブに差し込んでください。



- 2、フロントタイヤのアクスルからプラスチックカバー及び、両側のアクスルナットとタブワッシャーを取り外してください(内側のナットとワッシャーはそのままにしておいてください)。プラスチックカバーは梱包保護材ですので捨ててください。タイヤのアクスル(中心の軸棒)を両側で持ちタイヤがスムーズに回転するか、ガタが無いかを確認します。問題がある場合は内側のナットを締めるか緩めるかして調整します。

上部の図のようにフロントフォークにアクスルシャフトをはめ込みます(タイヤ側のナットとワッシャーはフロントフォークの内側となります)。

外側から両側のタブワッシャーとアクスルナットをはめて、手で締め込みます。タブワッシャーの爪をフロントフォークのタブホール(小さい穴)に入れてください。アクスルナットを付属のスパナで締めこんでください(締めすぎにご注意ください)。

- 3、 サドルポストをフレームに差し込みます。お子様がサドルに座り、膝が軽く曲がっている状態で、両足が地面にベッタリつくような高さに調整します。付属のスパナでクランプを締めこみサドルポストを固定してください(締めすぎにご注意ください)。

走行前は各部のナットに緩みがないか再度点検してください。

ストライダーのメンテナンス

綺麗な状態を保つために、車用のワックスをかけると効果的です。

泥や汚れなどは使用后綺麗に拭き取ってください。また水に濡れた場合はそのまま放置せず、早めに乾いた布で水分を拭き取ってください。

定期的に前後ホイールのアクスル部分にスプレータイプの潤滑剤を吹きつけてください。

ハンドルやサドルの高さは、お子様の成長にあわせ調整してあげてください。

各部のナットは長期間使用していると緩んできます。安全のため定期的に増し締めを行ってください。

定期的にホイール部分にクラック(割れやヒビ)などが無いか確認してください。またアクスル部分にガタが発生していないか確認してください。アクスル部分にガタが発生している場合は内側のアクスルナットが緩んでいる可能性がございますので、タイヤを外し内側アクスルナットを調整してください。

そのほか何かお分かりにならないことがございましたら弊社サポートまでご連絡ください。

ストライダーの安全規格 CPSC について



ストライダーはアメリカの厳しい安全基準である「CPSC」規格を取得しています。CPSC (Consumer Product Safety Commission) はアメリカ合衆国の米国消費者製品安全法 (Consumer Product Safety Act、連邦法) に基づき設立された、法的権限を持つ大統領直属の独立政府機関です。

ストライダー日本公式サイト

www.strider.jp

ストライダー日本総代理店

株式会社豆魚雷MSD事業部

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-36-10

電話 03-3336-5069

e-mail infodesk@mamegyorai.co.jp

STRIDER TM & © 2009 Strider Sports International, Inc. All right reserved.

Exclusive Distributed by Mamegyorai, Inc

STRIDER™ は米国 Strider Sports International, Inc の登録商標です。



WARNING

けいこく
警告

ほごしや かた
保護者の方へ

できせつ く た おこな そうこう ばあい およ い か きさいじこう まも ばあい
適切な組み立てを行わず走行した場合、及び以下記載事項を守らなかった場合

じゅうだい し こ はってん かもうせい
は重大な事故に発展する可能性があります。

こさま あんぜん たの かな げんしゅ
お子様にストライダーを安全にお楽しみいただくため、必ず厳守してください。

- 必ずヘルメットを着用のうえ走行させてください。ヘルメットを被らず転倒し頭部を強打した場合大変危険です。
- お子様が乗車中、保護者の方は必ず近くで同伴してください。また乗車中のお子様から絶対に目を離さないで下さい。
- 以下の場所での走行は大変危険です。絶対におやめください。
 - 一般公道
 - 車やバイクが往来する場所
 - 危険な障害物がある場所
 - 急な坂道がある場所
 - 転落する可能性がある場所
- ストライダーにブレーキ装置は付属しておりません。坂道での走行は特にご注意ください。
- 二人乗りなどの危険行為は絶対にお止めください。
- 転倒により思わぬ怪我をする可能性がありますので、プロテクターの着用を強く奨励いたします。

対象年齢： 2歳～5歳

体重制限： 23kg 以下

それでは安全に楽しく、そして自由に、ストライダーをお楽しみください。

Never too young to ride

www.strider.jp